



長野県議会2月定例会

訪問介護サービスの体制維持と認知症観の理解促進を

一般質問



た介護報酬を国に要望した。また、介護報酬改定の前夜で、約半数の事業所が収入減となる厳しい状況を認識している。

一般質問において、訪問介護サービスの提供体制の維持と「新しい認知症観」の理解促進について質問しました。

また、若者のライフデザイン支援事業、シニア向け講座の内容と、男女共同参画センターの取り組みについて伺いました。

訪問介護サービスの提供体制の維持と支援

【丸山】 訪問介護サービスの提供体制について、訪問介護事業者の廃止状況と、訪問介護サービスを維持するため、県がどのように支援していくのか伺う。

【笹淵健康福祉部長】 訪問介護事業所は、令和6年4月以降、廃止9件、開設13件で、4件の増となっている。訪問介護の基本報酬の引下げを受け、中山間地域は、効率

的なサービス提供が困難なため、地域の実情を考慮し

た介護報酬を国に要望した。また、介護報酬改定の前夜で、約半数の事業所が収入減となる厳しい状況を認識している。

訪問介護は、極めて重要であるため、魅力発信プログラムの開催のほか、価格高騰支援金の速やかな支給に努めていく。加えて、介護職員の処遇改善補助金や提供体制の確保に向けた支援金を補正予算に計上した。

【丸山】 地域包括ケアシステムの理念だけでは絵に描いた餅で、マンパワーと財源が必要である。介護報酬の改定で報酬が引き下げられ、ヘルパー消滅の危機を再認識した。介護労働に対する軽視と報酬の低さによるもの

である。人材不足、利用者の負担増、財源の改善を国に強く働きかけていただきたい。

「新しい認知症観」の理解と促進

【丸山】 県は、長野県認知症施策推進計画を策定しているが、「新しい認知症観」の理解と促進に向けて、どのように取り組んでいくのか伺う。

【笹淵健康福祉部長】 誰もが認知症になり得ることを

前提に、認知症になっても希望を持って暮らせる「新しい認知症観」を掲げ、認知症の正しい知識と理解を普及していくことが重要である。普及を図るため、認知症の方や

【丸山】 介護保険サービスの逆行が起こらないように働きかけていただきたい。また、介護者が増えることへの対応として、介護の初期段階の生活支援にもっと力を入れ、介護保険制度の継続につなげる必要がある。県から国に働きかけていただきたい。

【丸山】 県は、長野県認知症施策推進計画を策定しているが、「新しい認知症観」の理解と促進に向けて、どのように取り組んでいくのか伺う。



若者・シニア向けのライフデザイン支援
男女共同参画によるジェンダーギャップの解消を

若者のライフデザイン支援事業の取り組み

【丸山】 大学入学時や就職時に自分がどう生き、人生をどう描いていくかは大変重要と考える。新年度予算案に計上されている「若者のライフデザイン支援事業」の目的と事業内容について伺う。

【高橋こども若者局長】 どう生きたいかを考える機会が少ないことで、選択肢を諦めることにつながるようライフデザインセミナーで考える機会を提供していく。これまで大学生や若手社会人向けにセミナーを実施してきたが、仕事と家庭の両立や資産形成等に偏っていたため、「地域少子化対策重点推進交付金」を活用し、新年度当初予算案で事業を大幅に拡充する。

具体的には、自分の人生を可視化し、生き方を具体的に設計できる内容にする。大学や企業等への直接訪問も強化する。県主催セミナーの充実に加え、結婚・出産・子育て応援サイト「チャフルな」にライフデザインのページを新設し、若い世代の価値観に基づき、生き方を選択できる取り組みを行う。

長野県シニア大学
ライフデザイン講座

【丸山】 シニア向け講座を開催している長野県シニア大学において、「人生百年に向けて考えよう」という学習計画が盛り込まれているが、具体的な講座の内容を伺う。

【笹淵健康福祉部長】 この講座は、自分を見つめ、磨き高めるための教養講座として開催され、シニアが将来のライフデザインを考える授業となっている。

具体的には、人生の振り返りを行い、家庭や趣味・学習、社会参加など、項目ごとに自分を分析し、これからの人生を豊かにするための考える内容となっている。シニア大学の運営支援を通して、シニアの多様な活躍の推進を図っていく。

男女共同参画センターの取り組み



【丸山】 固定的な性別役割分担の意識を変え、ジェンダーギャップを解消する男女共同参画センターの役割は

重要である。センターの取り組みを伺う。

【直江県民文化部長】 男女共同参画センターは、普及啓発、市町村職員の人材育成、相談対応、関連書籍収集等に取り組んでいる。普及啓発としては、ジェンダー平等をテーマとしたセミナー、デー

トDV防止セミナー等を開催している。また、アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)等をテーマに市町村の女性相談員を対象に研修会も実施している。来年度は、男女共同参画の視点を取り入れ、災害時の避難所のトイレ整備、家庭内のハラスメント防止等、県民の関心、社会変化に応じた普及啓発に取り組む、寛容な社会作りを進めていく。

農政林務委員会で
質問しました

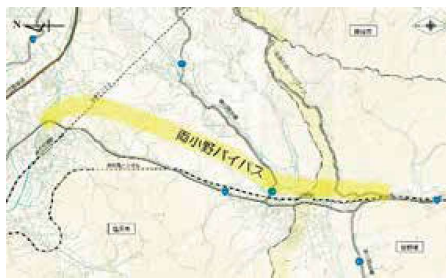
- 農政委員会
- 有機農業の推進(環境にやさしい農業の促進事業)
- くだもの王国づくり推進
- 園芸振興の取り組み
- そはづく事業の推進
- 林務委員会
- 木曾谷・伊那谷フォレストパレーの推進
- 松林健全化の推進他

国道153号両小野バイパスと片丘バイパス推進の要望書を提出

昨年12月24日に塩尻市長、地元役員の方々と共に、両バイパスの整備、推進を求める要望書を（県建設部）に提出しました。

両小野バイパスによる交通量緩和と安全対策

一般国道153号の辰野町小野地区から塩尻市北小野地区の区間は、道路両側に人家が隣接し、車道幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難で歩道も整備されていない状況です。豪雨や積雪時には、中央自動車道との回路となり、交通麻痺が発生するなど、住民生活や物流に大きな影響が出ています。重要な物流、生活道路であるため、交通量を緩和するバイパスの建設及び安全を確保する道路の改良を要望しました。



参考資料:要望書

生活と安全を確保する片丘バイパスの推進



参考資料:要望書

松本塩尻線は、片丘地区を通過して松本市に繋がる幹線道路ですが、交通量が大変多い道路です。しかし、南熊井集落内の道路幅が狭く、住民の生活に支障をきたしており、児童、生徒の安全な歩行、渋滞、騒音の解消が求められています。

今年度、新規事業化が決まり、松本建設事務所で作成された計画案と測量を基に地権者との意見交換会が行われ、地域住民の期待も高まっています。更なる事業の促進を要望しました。



活動記録

[2025年1~3月抜粋] 主催者、地区役員の方々や市民の皆様と懇談し、ご意見を伺いました

1/6(月)	塩尻市新年祝賀交歓会、各地区賀詞交歓会
1/7(火)	連合長野松本広域協議会賀詞交歓会
1/9(木)	長野県労働者福祉協議会賀詞交歓会(長野市)
1/10(金)	JA長野・県組合長会賀詞交歓会(長野市)
1/11(土)	塩尻青年会議所賀詞交歓会
1/12(日)	塩尻市消防出初式/北熊井賀詞交歓会
1/20(月)	山梨県庁視察(産後ケア事業) 南内田区と県施設との行政懇談会
1/21(火)	塩尻市名誉市民称号授与式(出口クリスタさん)
1/22(水)-23(木)	会派視察・県政対話集会(上田市)
1/24(金)	塩尻市水道組合賀詞交歓会
1/27(月)-28(火)	会派中央省庁研修会(東京)
1/29(水)	県伝統工芸品展開会式(松本市) 塩尻労働者福祉協議会賀詞交歓会
1/31(金)	塩尻商工会議所賀詞交歓会
2/1(土)	拉致問題を考える国民の集い(長野市)
2/3(月)	奈良井宿アイスキャンダル祭り
2/5(水)	片丘地域づくり協議会 農村女性いきいきネット懇談会
2/15(土)	強度行動障がいセミナー(中信地区) Fパワープロジェクト片丘地区説明会
3/3(月)	会派有機栽培学習会(講師:吉田太郎さん)
3/9(日)	国際女性デーセミナー(講師:山口のり子さん)
3/18(火)	(県) 中信右岸土地改良区式典
3/24(月)	(県) 男女共同参画審議会

令和7年度長野県議会議長/依田 明善(自民党) 副議長/中川 博司(改革信州)

改革信州 委員会構成 ◎委員長 ○副委員長

総務企画警察 (常任)	小林 東一郎	高島 陽子	
県民文化健康福祉 (常任)	荒井 武志	小林 陽子	
産業観光企業 (常任)	花岡 賢一	佐藤 千枝	
農政林務 (常任)	◎埋橋 茂人	竹村 直子	
危機管理建設 (常任)	◎望月 義寿	丸山 寿子	
環境文教 (常任)	続木 幹夫	林 和明	
議会運営	埋橋 茂人	佐藤 千枝	○林 和明
決算特別(内定)	荒井 武志	◎花岡 賢一	竹村 直子

扉を開けて

今年「国際女性デー」提唱から50年の節目で、全国各地でアクションが広がりました。塩尻市でも「人権尊重社会の基本はジェンダー平等」と題して、ジェンダー平等プロジェクトやDV防止プログラムを提唱している山口のり子さんに講演をお願いし、具体的な気づきを共有しました。地道に活動を継続し、誰もが暮らしやすい社会をつくってきたいと思えます。

■ 信州Fパワープロジェクト説明会

2月15日

片丘地区で開催された、塩尻市、県、事業者による信州Fパワープロジェクトに関する地元説明会に参加しました。綿半ホールディングス(株)から、燃料となる木材を増やす対策として、D材(林地残材)を活用するため、①大型破砕機の導入(チップ生産能力の向上)、②県内各地に集積コンテナを設置(林業者が林地残材である枝葉や幹の末端部を投入)、③集材機械の拡充等を行い、4月以降、稼働率が9割を超える見込みであるとの説明がありました。



【伐採後に残ったD材】参考:説明会資料

当日は、地元住民約40人が参加し、県の林務部に対し、県の関わり方に対する意見や、事業がうまく軌道に乗せられなかった原因を検証し、公表すること、事業の進捗に応じて地域の環境整備等にも配慮するよう要望がありました。

■ 長野県伝統工芸品展

1月29日

第40回長野県伝統工芸品の開会式に出席しました。国指定、県指定の工芸品も含め、20以上の工芸品が展示され、直接手に取り、お話を聞く事ができ感動しました。



■ 拉致問題を考える国民の集い

2月1日

政府拉致問題対策本部と長野県が主催し、「拉致問題を考える国民の集いin長野」が県内で初めて開催されました。拉致被害者家族連絡会代表で、拉致された横田めぐみさんの弟である横田拓也さんの講演と、塩尻市出身で行方不明となっている高野清文さんの妹の高野美幸さんから、家族の訴えがあり、拉致被害者として思えない行方不明者が全国に多数いることが分かりました。県内にも4名おり、一日も早い帰国を願います。今後も集いが開かれ、県民の皆様にとって頂くアクションを起こすべきと考えます。

拉致被害者等ご家族の訴え

高野 美幸 氏



中学生の意見発表

塩入 心葉 さん

6月定例会 日程(予定)	▶6月19日 開会
	▶6月24日~27日 一般質問及び質疑
	▶6月30日~7月3日 各委員会
	▶7月4日 閉会



このチラシは「FSC®森林認証紙」を使用しています。